



ベネッセグループ会社案内

2024

＜ ベネッセグループ 企業哲学 ＞

bene「よく」+esse「生きる」
Benesse=
『よく生きる』

Benesse。それは、「志」をもって、夢や理想の実現に向けて
一步一步近づいていく、そのプロセスをも楽しむ生き方のこと

私たちは、一人ひとりの「よく生きる」を実現するために
人々の向上意欲と課題解決を生涯にわたって支援します

そして、お客さまや社会・地域から支持され
なくてはならない企業グループとして、いまと未来の社会に貢献します

※Benesseは、ラテン語のbene(良い、正しい)とesse(生きる)を一語にした造語です。

＜ ベネッセグループ パーパス ＞

誰もが一生、成長できる。
自分らしく生きられる世界へ。

ベネッセは目指し続けます。

志をもって、「人」に関わる社会課題に向き合い、
お客さまの「よく生きる」を
圧倒的にご支援できる企業であり続けるために

株式会社ベネッセホールディングス
代表取締役社長 CEO

こばやし ひとし
小林 仁



ベネッセグループは、1955年福武書店の創業に始まり、
国内教育、グローバル教育、介護・保育、生活といった分野で
人のライフステージに沿った事業を展開しています。その根
幹に共通してあるのは、1990年に発表した「Benesse(=
よく生きる)」の存在です。

夢や理想の実現に向かって歩み続けるお客さまに寄りそ
い、一人ひとりの成長や課題解決を生涯にわたって応援して
いくこと、それが「Benesse=よく生きる(well-being)」で
あり、ベネッセが時代を超えてずっと大切に、追求し続けて
きた不変の企業哲学です。

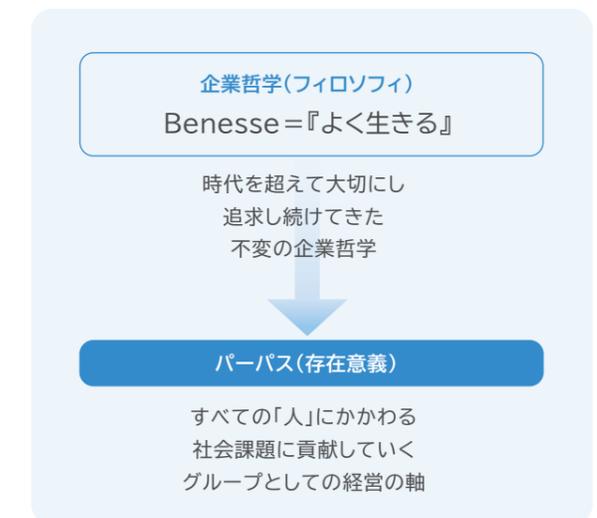
このベネッセの哲学に共感する社員が高い志を持ち、商品
サービスのご提供に取り組んでいます。

現在、我々が行う事業の周辺では、少子化、テクノロジーの
進化など社会的に大きな変化が続いています。このような中、
「Benesse=よく生きる」を実践し、お客さまに役立つ価値
を創造し続けるためには「我々は何のために事業活動をす
るのか(=パーパス)」という原点に立ち返り、社員一人ひとり
がお客さまと社会の変化を捉え、挑戦し続けることが重要
です。すべてのライフステージにおいて、「人」が持つ可能性を
信じ、この社会の大きな変化の中で、さまざまな方が人生の
節目を乗り越え、自分らしく豊かに生きられる世界の実現を
粘り強く追いつけていく。それが、ベネッセグループのパーパス
に込めた想いです。

ベネッセグループは、このパーパスを経営の軸として、お客
さまのニーズの変化や困りごとに向き合いながら、「人」に関
わる社会課題の解決に貢献してまいります。お子さまの学び

に対する意欲や自信を高め、未来に役立つ力を伸ばせる多様
な学びの支援。大学生・社会人が社会で自分らしく生き生き
と働ける、キャリアにつながる学びの支援。そして、高齢化が
急速に進む中での介護人材不足解消に向けた取り組みの
強化や介護DXの推進。これらの挑戦を加速させていきます。
そしてパーパスを中心に、「社会価値」「顧客価値」をこれまで
以上に大切に、「経済価値」とともに高めてまいります。

これまで培ったベネッセ独自の強みと社会が求める
ニーズが交わる部分にこそ、ベネッセのパーパス(存在意義)
はあります。今と未来の「よく生きる」社会の実現に向け、
我々はこれからも、事業を通じて社会課題に真摯に向き合い、
お客さまを圧倒的にご支援できる企業として、さらなる成長
を目指してまいります。



事業活動を通じて、 一人ひとりの「よく生きる」を支援します

一人ひとりの、「Benesse=よく生きる」の実現のために。
教育や介護・保育、生活にかかわる
5つの事業領域で幅広いサービスを提供しています。

〈妊娠・出産・生活〉

家族の暮らしがより豊かで
充実したものになることを支援。



〈小中学生・高校生 /学校〉

学習スタイルやニーズに合わせた
児童・生徒支援と、学校や先生の支援。



〈乳幼児〉

親子のふれあいを大切にしながら、
子どもの好奇心を引き出し、可能性を広げる支援。



一人ひとりの
『よく生きる』を
実現

〈シニア〉

「その方らしさに、深く寄りそう。」ことを大切に、
ご高齢者とそのご家族の「よく生きる」を支援。



〈大学生・社会人〉

キャリアにつながる学びを通じて、
大学生・社会人が、社会で活躍できる支援。



人生のあらゆるステージを支援する ベネッセのサービス

夢や理想の実現に向けて歩み続けるお客さまに寄りそいながら
一人ひとりの「よく生きる」を生涯支援する企業として、多様な商品・サービスを展開しています。

〈妊娠・出産・生活〉

妊娠・出産・育児でサポートできるよう、「たまひよ」は雑誌や書籍、アプリ、ウェブサイト、通販事業などを通して、情報・知識の提供や悩み相談などを行っています。
また自分らしく豊かな生活を送れるように、さまざまなメディアを活用して家庭生活やペットとの暮らしに役立つ情報提供、コミュニティづくりを行っています。

たまひよ  サンキュ!

いぬのきもち 

ねこのきもち 

〈乳幼児〉

「こどもちゃれんじ」など、子どもの発達段階に合わせたベネッセ独自の教育サービスで、年齢ごとに多彩な興味・関心を引き出し、自ら考えるきっかけを作ります。またオンラインや場での知育・英語教育も提供し、幼児期から学びに向かう力を育みます。

こどもちゃれんじ こどもちゃれんじ English

ベネッセの英語教室 **BE studio**

ベネッセサイエンス教室

ベネッセの保育園

〈小中学生・高校生/学校〉

「進研ゼミ」はお子さまの成長段階・個別ニーズに応えるデジタルや紙を活かした設計で学ぶ意欲を高めます。学習塾・教室事業では、対面やオンラインを活用した丁寧な指導、地域に根差したサービスを提供し、個別の目的や理解度に合わせたサポートで、自ら学ぶ力を育みます。
また、学びを届け、変化する学校現場に合わせた商品・サービスを通じて、先生の学習指導・進路指導につながる支援を行っています。

進研ゼミ 進研ゼミ 個別指導教室 EVERES  チャレンジスクール

進研模試 スタディーサポート GTEC  マナビジョン

ベネッセの義務教育向けICTソフト **三ツツツ** ICTサポート Classi  C4th

 東京個別指導学院 ベネッセサイエンス教室 ベネッセ文章表現教室

 お茶ゼミ  進学館  洛西進学教室

 研伸館  開進館  個別館 鉄緑会  BE studio

 Route G  Route H  Be 高等学院

ベネッセの学童クラブ  教育情報ONLINE

ベネッセ教育情報  VIEWnext ONLINE

< シニア >

日本の高齢化が加速するなか、いくつになっても「自分らしく生きる」毎日をサポートするために、お客さま一人ひとりに寄りそいながら、介護を中心とした多様なサービスを提供しています。

アリア グラニー&グランダ
 くらら まどか ボンセジュール ここち
 リレ ベネッセのおうちごはん
 キャリオス 介護 キャリオス 1DAY
 ハートページ 介護求人ナビ
 ベネッセの介護相談室

< 大学生・社会人 >

留学や就職など、人生の進路において、自らが納得した選択ができるためのサービス、「学び続ける」社会人に向けた教育プログラム、女性を対象としたキャリア支援など、大学生・社会人の可能性を拓けるサポートをしています。

udemy udemy business
 doda キャリパス doda 新卒エデュート
 GPS-Academic Global Proficiency Skills program® GPS-Business® Global Proficiency Skills program®
 GTEC STUDY HACKER ENGLISH EST. COMPANY 2019
 withbatons Waris

変化する社会の中で お客さまの課題解決を目指す挑戦

教育領域での事業変革や、大学生・社会人向けの事業開発など、さまざまなライフステージにおいて時代を見据えた取り組みを拡大しています。

udemy

組織のDX化やキャリア教育に関する課題をリスキリングで解決

最新のIT技術やビジネススキルまで広く展開。個人での学びに加え、企業・行政・自治体でのDX人材育成、大学など教育機関でのキャリア教育にも活用し、学びをキャリアへ活かせる仕組みを提供しています。

進路達成プログラム

年内入試の拡大に対応した、高校生の進路支援

大学の年内入試入学者の急増に伴い、スマホなどのデバイスを活用した診断やワークを通して、学校の先生と共に、生徒の進路選択や入学前学習を支援しています。

進研ゼミ 得点力アップアプリズ

学ぶ意欲の低下傾向を踏まえ、楽しく学べるスタイルを提案

「進研ゼミ」の新しい学びのカたちとしてNintendo Switch™用のソフトをリリース。ゲーム形式で勉強に楽しく取り組むことができます。対戦形式で家族や友達と競い合いながら学ぶことで、学習意欲向上を目指します。

※提供学年：小1～中1

介護アンテナ

超高齢社会における介護の質向上のため、自社の知見を公開

ベネッセスタイルケアが提供するウェブサイト。介護現場で働く人たちだけでなく、介護に関わるすべての人々に向けて、介護技術などのノウハウや知見を社会へ還元。高齢者の病気・薬に関する情報なども提供しています。

一人ひとりを見つめ、多様性のある新しい学びも提供

みらいキャンパス

少人数×対話型で、未来への探究力を育むオンライン講座

学年や教科の枠を超え、起業家やアーティストなど実社会で活躍するプロと学びを深めます。「自分の軸」を見つけ、伸ばせる出会いの場。好きなことから始める探究の学びが未来につながる力になります。

※対象：小・中学生

チャレンジスクール

一人ひとりの好きやトキを伸ばすベネッセのオンラインならいごと

プログラミング、アート、ダンスなど、豊富な講座を提供。一流の指導を全国どこからでも、安心安全に受講できます。子どもたち一人ひとりの夢を引き出し、変化が激しく正解のない未来を切り拓いていく力を育てます。ご家庭用だけでなく、学童・不登校支援にもサービス拡大中。

※対象：幼児～高校生(講座により異なる)



企業活動を通じて サステナブルな社会を目指す

事業活動と社会活動を通じた人々の「Benesse=よく生きる」の実現、そして社会課題の解決につながる新たな価値を創造し続けることで、ベネッセグループと社会の持続的な成長を目指します。

ベネッセのマテリアリティ(重要課題)

● パーパスの実現に向けた事業テーマ

多様化、多層化する学びに対する支援と意欲を高める教育の実現



学びを通じた企業の持続的成長と個人のキャリア開発支援



ご高齢者の“その方らしさ”の追求と介護を取り巻く構造課題の解決



● 上記を支える土台としてのESGの推進

変革を推進する組織と人の育成

持続可能な地球環境の保全

誠実に社会・顧客に向き合う企業風土

ベネッセアートサイト直島

ベネッセホールディングスは、福武財団とともに、瀬戸内を舞台とした「ベネッセアートサイト直島」の活動を通してアートを媒介とした地域づくりに取り組んでいます。地域の人々とともに、新しい価値を生み出し、「Benesse=よく生きる」という哲学を世界に発信しています。

また、ベネッセアートサイト直島にある「自然・建築・アートの共生」をコンセプトとした施設「ベネッセハウス」では、持続可能な社会の実現に貢献することを目指し、環境への配慮、健康・安全などのさまざまな項目においてサステナビリティを推進しています。



「南瓜」草間彌生 2022年 ©YAYOI KUSAMA 撮影:山本紘

ESGにおける外部評価



※1 ベネッセホールディングス ※2 東京個別指導学院 ※3 ベネッセビジネスメイト ※4 ベネッセピーススタジオ ※5 ベネッセ・ベースコム ※6 ベネッセスタイルケア ※7 Waris ※8 ベネッセコーポレーション

株式会社ベネッセホールディングス

会社概要

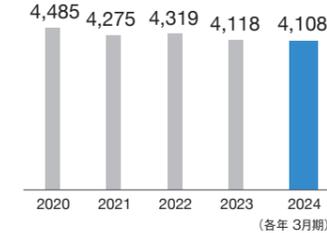
商号 株式会社ベネッセホールディングス
所在地 本社/岡山市北区南方3-7-17 東京本部/東京都多摩市落合1-34
代表者 代表取締役社長 CEO 小林 仁
創業 1955年1月28日
社員数 従業員数 17,082名(2024年3月現在)



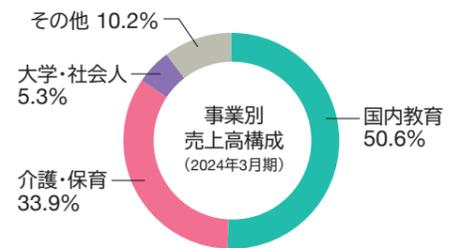
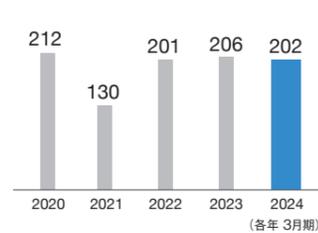
本社 東京本部

業績(連結)

売上高(単位:億円)



営業利益(単位:億円)



沿革(ベネッセグループ)

- 1955 岡山市南方420番地に(株)福武書店を創立
中学向けの図書、生徒手帳発行を開始
- 1962 高校生向け「関西模試」を開始
(73年に「進研模試」として全国展開)
- 1969 高校生向け通信教育講座「通信教育セミナー」を開講
- 1972 中学生向け通信教育講座「通信教育セミナー・ジュニア」を開講
- 1980 第1次CIで「文化化・情報化・国際化」を発信
進研ゼミ「小学講座」を開講
- 1988 進研ゼミ「幼児講座」(現在の「こどもちゃれんじ」)を開講
台北支社を設立
- 1990 第2次CIでフィロソフィ・ブランド「Benesse」を発表
- 1991 ベネッセ・ロジスティクス・センター(岡山県瀬戸内市長船町)を竣工
- 1993 世界最大の語学企業、現在のベルリッツ コーポレーションを子会社化
「たまごクラブ」「ひよこクラブ」を創刊
- 1994 東京支社(現在の東京本部)が東京都多摩市に移転
- 1995 商号を(株)ベネッセコーポレーションに変更
大証2部/広証へ株式上場
- 1996 「サンキュ!」を創刊
- 1997 大証1部へ指定替え
- 2000 東証1部へ株式上場
介護事業の運営会社の(株)ベネッセケアを設立
介護付き高齢者向けホームの伸こう会(株)を子会社化
- 2001 ベルリッツ コーポレーションを完全子会社化
高校向け教材出版社(株)ラーズを設立
- 2003 ベネッセグループの介護事業会社3社を(株)ベネッセスタイルケアとして統合
(株)進研アドを子会社化
Benesse Hong Kong Co., Ltd.を設立
- 2006 (株)お茶の水ゼミナールを子会社化
- 2007 (株)東京個別指導学院を子会社化
倍楽生商貿(中国)有限公司を設立
- 2009 (株)東京教育研を設立
持株会社体制へ移行
商号を(株)ベネッセホールディングスに変更
- 2010 (株)ボンセジュールを子会社化
- 2012 (株)アップを子会社化
(株)ボンセジュールを(株)ベネッセスタイルケアに合併
- 2013 配食サービス事業を行う(株)ベネッセパレットを設立
- 2014 介護相談サービス事業を行う(株)ベネッセシニアサポートを設立
(株)ミネルヴァインテリジェンス(現在の(株)ベネッセピーススタジオ)を子会社化
- 2015 (株)ベネッセインフォシエルを設立
(株)ベネッセi-キャリアを設立
- 2016 (株)ベネッセソシアスを設立
- 2019 Classi(株)を子会社化
- 2020 (株)スタディーハッカーを子会社化
- 2021 (株)プロトメディカルケア(のちの(株)ハートメディカルケア)を子会社化
- 2022 ベルリッツ コーポレーションの全株式を譲渡
- 2023 (株)お茶の水ゼミナールを(株)アップに合併
(株)京都洛西予備校を子会社化
(株)Warisを子会社化
(株)ベネッセインフォシエルを(株)ベネッセコーポレーションに合併
- 2024 (株)ブランディット、(株)ラーズを(株)ベネッセコーポレーションに合併
株式の非公開化により東証プライム市場での上場を廃止
介護・医療の人材事業を行う(株)ベネッセMCMと
(株)ハートメディカルケアを(株)ベネッセキャリアオスとして統合

株式会社ベネッセホールディングス
https://www.benesse-hd.co.jp/

